

ロジスティクス強調月間 2014
関西物流改善事例発表会 2014

発表者募集

物流現場の身近な改善の成果を発表しましょう!!



Kansai Logistics
KAIZEN case
presentation
2014

【 テーマ 】 明日につながる現場力

【応募締切日】 2014年 6月30日(月)

【発表会開催日】 2014年10月28日(火)

【発表会会場】 ホテル大阪ベイタワー
(大阪市港区)

公益社団法人

日本ロジスティクス システム協会

日本ロジスティクス研究会 関西支部

公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会、日本ロジスティクス研究会関西支部では『関西物流改善事例発表会2014』を開催いたします。本発表会は物流の実務に焦点をあて、物流現場担当者の方々の日々の改善へのお取り組み、小集団活動等による成果事例等、現場の改善事例を中心に広く募集し、その発表を通じて、物流業務の効率化や生産性の向上、ローコストオペレーション、環境負荷低減活動などを推進するためのヒントや課題を物流の実務者同士が情報共有し、交流することを目的としております。

貴社の改善成果発表の場として、ぜひ積極的にご応募くださいますようお願い申し上げます。

募集内容

- ◎物流現場での、ちょっとした工夫や、さりげない努力、すぐに現場で活用できそうな改善成果の事例
- ◎物流現場において身近に行われている小集団活動等による生産性、物流品質、安全性、顧客サービス向上やコスト低減、環境負荷軽減を実現したような事例

《例えば物流の各領域でのこんな改善事例はありませんか？》

◆物流業務領域

庫内作業

- ①ピッキングリストや棚表示、ピッキング作業の改善
- ②人員配置の改善によるピーク時対応や負荷の標準化
- ③荷役機器、保管設備、パレット、容器、情報端末などの改善
- ④出荷頻度や取り扱い製品に応じた保管、配置方法の改善
- ⑤作業環境、作業方法の改善

輸配送

- ⑥復路輸送の空荷防止などによる収益の向上
- ⑦誤出荷、誤納の減少
- ⑧トラックの積載率、回転率、運行効率の向上
- ⑨トラックの滞留・積卸時間の短縮

◆物流管理領域

物流システム

- ⑩物流拠点の統合・再配置による改善
- ⑪事前出荷情報の取得と活用による改善
- ⑫海外物流の改善
- ⑬IT活用による効率化、業務改善
- ⑭納期回答の迅速化
- ⑮取引条件の変更による改善
- ⑯物量変動に合わせた作業体制によるコスト削減

管理系(取引条件など)

- ⑰環境対応、環境負荷の低減を目指した活動
- ⑱CSの向上(クレームの減少)
- ⑲震災対応について
- ⑳教育訓練によるモラル、モチベーションの向上

※自社製品およびサービスのPRはご遠慮ください。

前回の関西物流改善事例発表会での発表事例

『衛生材料物流の入荷業務の効率化』

国内トップシェアを誇る衛生材料メーカーの物流において入荷業務の改善を行った事例である。現場のムダ・ムラ・ムリを中心とした問題点抽出や定点カメラによる動線解析を行うことにより滞留や作業のムダを特定し、同期化や標準化、見える化を推進することで生産性を25.3%向上させた。

『コープこうべ物流現場における配送コストの削減』

コープこうべの店舗向けの冷蔵・冷凍商品を配送するセンターにおいて、配送効率を高める取り組みを行なうことで配送コストの削減を行った。特に店着時間や入荷時間の変更を提案し、各方面の協力を得ながら実施したことで配送便数を削減できた。その結果、年間で約5,000万円の削減効果を得られた。

『物流経費削減への取組 — ハンガーバッグの利用 —』

客注商材の店間移動などダンボールを使用して発送していた。また、指定納品代行制度導入に伴い、運送費、作業時間、梱包資材費、環境への負担等が膨らんでいる点を課題とした。対策として、再利用可能なハンガーバッグを使用し、売場スタッフ、納品代行等の多くの場面で作業工数が削減。ダンボール購入費、運送費など併せて年間約265万円の削減。また環境負担への削減に大きくつながった。

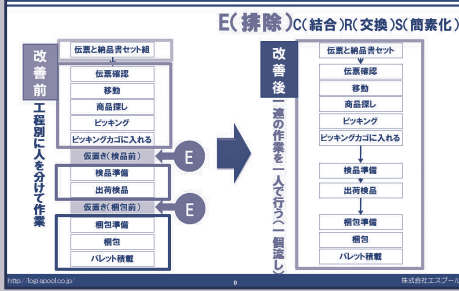
『文具用品における重量検品方法の改善によるエラーオリコン削減と作業負担の平均化』

文具用品を取り扱うセンターにおいて、庫内収益改善の一環として重量検品方法の改善活動を実施。一次改善でエラー比率の高い商品の重量を測定、再登録、二次改善では重量差異率による検品の一部を撤廃した。結果、トータル93.3%の重量エラーオリコンを削減することで、年間1764時間の工数削減を達成した。また、三次改善で保管商品の巻き替えを行い作業負担の平均化を実現した。

『売上を伸ばす通販物流サービス』

通販物流センターにおいて、顧客のビジョン・目標を共有することと物流改善で、顧客の物流サービスを向上させ、売上に貢献し、同時に自社の利益を改善した。具体的にはレイアウト改善やロケーション変更、作業改善である。物流サービス向上では、某通販モールでの梱包レビュー(お客様評価)が4.5へ上昇。また、在庫差異率も改善。生産性においては、出荷処理件数が改善前に比べ、3倍になった。

4. 具体的な施策と結果 (滞留の排除)



発表事例選考・発表・表彰

- ◎発表件数は10件程度を予定しております。
- ◎発表事例の選考は取り組み領域、成果等を考慮し、実行委員会にて選考させていただきます。(選考結果の通知は7月下旬を予定しています)
- ◎発表いただく方には発表資料の作成をお願いします。
 - ・原稿枚数：8～10枚程度、パワーポイント原稿(原則)。
 - ・発表資料提出締切：9月30日(火)
- ◎関西物流改善事例発表会2014
開催日：2014年10月28日(火) 10:00～17:00 会場：ホテル大阪ベイタワー(大阪市港区)
- ◎発表時間：1事例20分間でご発表いただきます。
- ◎表彰：ご発表いただいた事例は優秀事例として発表会場で記念品を贈呈し、表彰させていただきます。
- ◎特別講演：改善をテーマとした特別講演を実施予定。



※ご発表者は、「関西物流改善事例発表会2014」当日すべての発表事例を聴講していただくことが可能です。

応募締切日 — 2014年 6月30日(月) —

応募から関西物流改善事例発表会2014までの流れ

応募締切:6月30日(月) → 選考結果通知:7月下旬 → 発表資料提出:9月30日(火) → 発表会:10月28日(火)

関西物流改善事例発表会2014 実行委員会 委員一覧

2014年4月現在

(敬称略・五十音順)

委員長 牧 邦彦	ワコール流通(株) 代表取締役社長	委員 佐久間 慎二	JILSアドバイザー(元トヨタ部品大阪共販(株) 常務取締役)
副委員長 太田 雅浩	(株)丸和運輸機関 関西物流運営本部 本部長	〃 篠原 和豊	日本ロジスティクス研究会 関西支部 支部長
〃 前谷 恭司	シャープ(株) コーポレート統括本部 物流推進センター 所長	〃 高田 充康	オムロン住倉ロジスティック(株) 企画管理統括部 部長
委員 秋山 政泰	センコー(株) 人材教育部 人材開発グループ長 部長	〃 辻 孝	(株)フリゴ 業務推進部 部長
〃 石寺 勝秀	日本ロジスティクス研究会 関西支部 支部委員	〃 西谷 秀樹	日本通運(株) 常務理事 関西営業部長
〃 稲森 浩樹	(株)日立物流 西日本営業本部 事業企画部 部長	〃 正木 博	佐川グローバルロジスティクス(株) 大阪支店 支店長
〃 井上 謙二	ダイキン工業(株) 物流本部 物流改革専任部長	〃 水田 勉	ダイセル物流(株) 安全品質保証部 部長
〃 大野 雅哉	アシックス物流(株) 取締役 阪神配送センター 所長	〃 宮澤 聡	リコーロジスティクス(株) 関西事業部長
〃 陰平 康則	生活協同組合コープこうべ 物流部 統括部長	〃 村上 義則	コクヨサプライロジスティクス(株) CSオペレーション部 近畿IDC 統括所長
〃 小林 正憲	(株)エスプールロジスティクス 執行役員 3PL事業部 事業部長	〃 望月 彰	(株)間口 物流第一事業部 ロジ第二部 部長
〃 齋藤 賢二	帝人物流(株) ソリューション第1部 部長	〃 山本 泰伸	ヤマトシステム開発(株) e-ロジソリューションカンパニー 西日本ロジスティクス支店 支店長

『小売店舗向け物流センターに於ける意識改革による現場力向上 —トラック積載率向上—』

現場リーダー層(配車業務)や配送協力会社とのコミュニケーションを深め、マナーモラルのレベル、業務改善に向けたモチベーションの向上に取り組む。また、物量波動への対応力を強化することで無駄なコストを低減。その結果、積載率前年比114.3%、月間約300便の削減を達成。

『みんなで戦うマネジメントシステム ～事務スタッフによる現場改善事例～』

「持続的競争優位を実現できる経営資源作り」の一環として事務職も作業現場改善を行っている。本事例は「物流現場マネジメント」の改善事例である。
1.現場改善効果 ①ロケーション棚の整理整頓例：人件費1,344円/月の削減②事務所における物流センター疑似体験例：過剰在庫28,526円の削減③加工出荷一覧表作成例：人件費126,000円/月の削減 2.マネジメント改善効果 売上予算比99.3%未達であるのに対し、利益予算比162.9%を達成。

『2012年の暑い夏！節電目標10%以上 我々に出来る事は！』

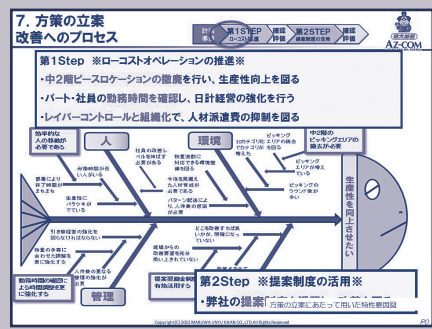
2011年3.11震災以後原発停止となり、関西圏内で記録的猛暑だった2010年夏比「10%以上」の節電を求められた。例年通りの節電のみならず、さらなる節電対策を具体的に提案し実行する。2012年6月～8月までの3か月使用電力量(KWH)は、17.4%減少し金額として約25万円の経費削減した。

『レイアウト変更による 出庫生産性の向上』

現状、SKU数(前年比113%)と在庫数量(前年比157%)にあったレイアウトになっておらず、出庫動線が長くなり上半期は出庫生産性が前年を下回った。この状況を改善するために、商品棚150台を購入し、動線短縮のレイアウト変更を行った。結果、下半期は出庫生産性が前年比106%となり、金額で94万円/半年のコスト削減ができた。また棚購入の投資額は1年10ヶ月で回収できる。

『ドラッグストアである お客様ニーズ対応と庫内業務の ローコストオペレーション推進』

お客様へのニーズ対応・利益貢献として、配送パターンの見直し・カテゴリ納品の細分化を行った。また、お客様の店舗オペレーションの軽減にも寄与し、年間2,400万円の利益貢献を実現した。加えて、環境負荷低減にも効果があった。その一方で、庫内業務の改革・変革を行い、日計管理の徹底・物量波動に応じた人員配置・出荷頻度に応じたロケーション変更を行った。この結果、当社に於いても人件費をはじめとする大幅な経費削減。また、改善を通じた人材の育成を図ることが出来た。



応募要領

◎発表申込書に必要事項をご記入いただき事務局までFAX送信してください。

◎応募についてご関心、ご質問のある方は事務局までお問い合わせください。

◎今回ご応募ならびにご発表いただく内容は、次年度以降の全日本物流改善事例大会へのご応募も可能とさせていただきます。

【お申し込み・お問い合わせ先】

公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会 関西支部

〒530-0001 大阪市北区梅田2-2-22 ハービスENTオフィスタワー19F TEL 06-4797-2070 FAX 06-4797-2071

▲ 送付先 FAX : **06-4797-2071** ▲

関西物流改善事例発表会2014 [発表申込書]

■ 会社名 ■

〒 ■ 所在地 ■

■ 所属・役職 ■

■ E-mail ■

■ TEL ■

■ 氏 名 ■

ふりがな

■ FAX ■

1.パンフレット中面の「募集内容」の改善事例①～⑳より該当するものをお選びください

該当番号
(複数回答可)

、その他

2.改善事例テーマ

3.改善活動について簡単にご記入ください

①改善のポイント（取り組み内容）

②改善の成果